

長崎県における取組について

2025年11月14日
長崎県産業労働部
新エネルギー推進室

成長産業振興の取組（海洋エネルギー関連産業）

- 県内では、五島市沖及び西海市江島沖が再エネ海域利用法に基づく促進区域に西日本で唯一指定。五島市では、発電事業者が設立した基金を活用し、様々な地域振興策等を実施。
- 昨年10月に発電事業者との商談会を実施し、54社の県内企業が参加したほか、洋上風力発電事業が多数導入される秋田県への視察を実施するなど、県外事業への参入についても支援中。

一般海域での洋上風力発電事業 → 西日本で唯一

参入促進支援 ～ 企業間マッチング



〈五島市沖〉
発電容量:16.8MW
(2.1MW×8基)
運転開始:R8.1月

〈西海市江島沖〉
発電容量:420MW
(15MW×28基)
運転開始:R11.8月

千葉県銚子市沖

五島市が基金（20年間で約6億円）を活用した地域振興策等を実施

※主な事業

- こどもたちへの人材育成・投資：市内中学生の海外体験研修への支援
- 漁業振興策：漁業用燃油の補助など



長崎県産業振興財団

▶ 情報収集・共有、商談会・セミナー開催、先進地訪問、



長崎県海洋産業推進セミナー（商談会）



洋上風力発電の
PR展示ブース
(AOW みらい館)

秋田県訪問



メンテナンス用アクセス船
(能代 O&M 港)

参入促進支援 ～ 人材育成・作業員訓練



NPO法人 Nagasaki Marine Industry Cluster Promotion Association
長崎海洋産業クラスター形成推進協議会



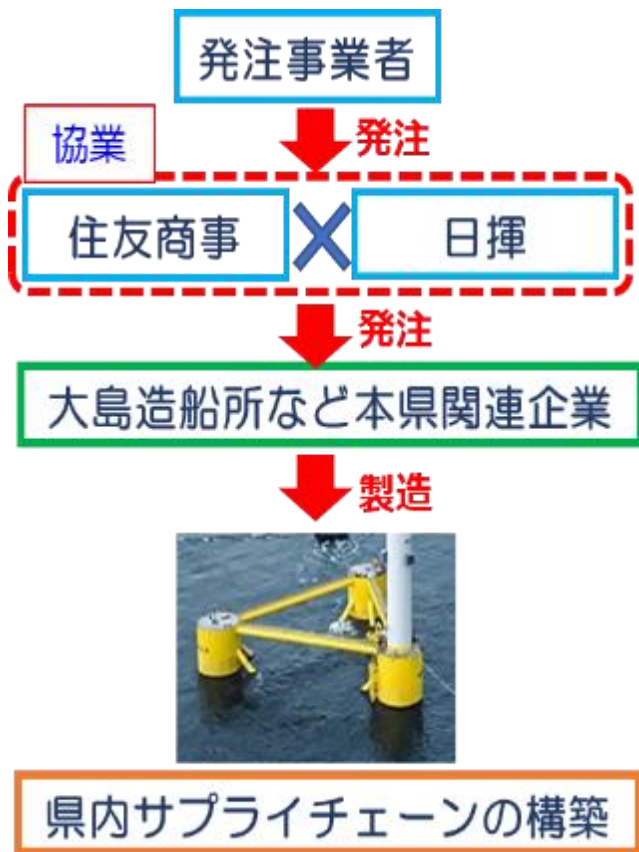
洋上を想定した
プールでの安全訓練



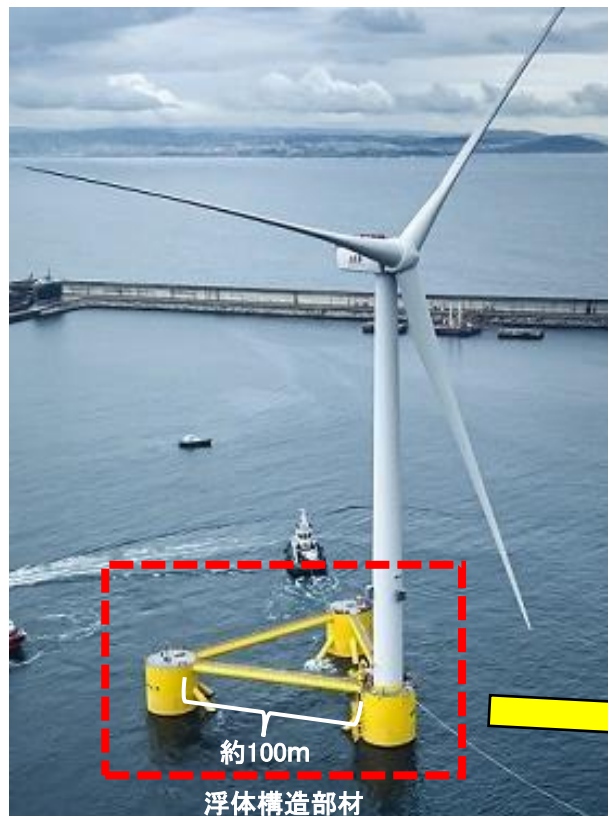
成長産業振興の取組（海洋エネルギー関連産業）

- 日揮や住友商事、大島造船所など本県関連企業が連携し、浮体式洋上風力発電の浮体構造部材の量産に関して新たなサプライチェーン構築を目指すことを発表。

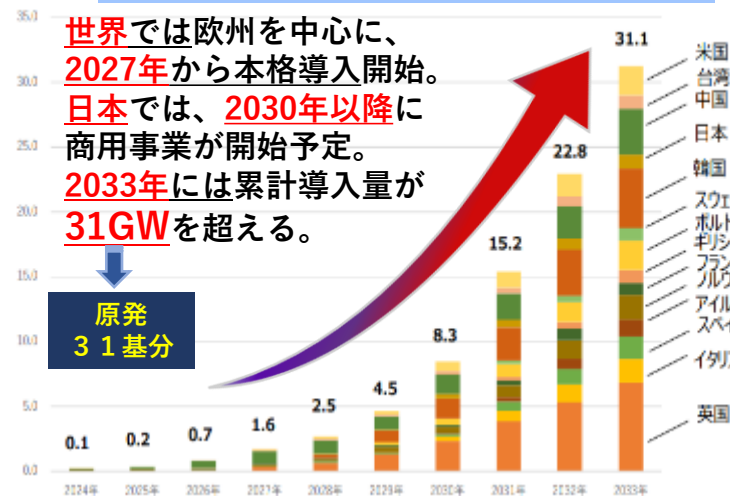
浮体式基礎のサプライチェーン



浮体式洋上風力（セミサブ型）イメージ



世界の浮体式洋上風力発電の累積導入見通し



浮体式基礎部分と東京ドームとの比較



東京ドームの面積のおよそ半分を占める大きさ

カーボンニュートラルへの取組

地場取引拡大・企業誘致

成長産業振興の取組（海洋エネルギー関連産業）

- 再エネ海域利用法に基づく促進区域で国内初となる五島市沖（浮体式）が令和8年1月から運転開始。
- 五島市観光協会が洋上風車等を視察するツアーを実施中。令和6年度は1,300人以上を受け入れ。
- 今年10月には、県内3海域目として、五島市南沖が準備区域に整理（風車基礎は浮体式の予定）。

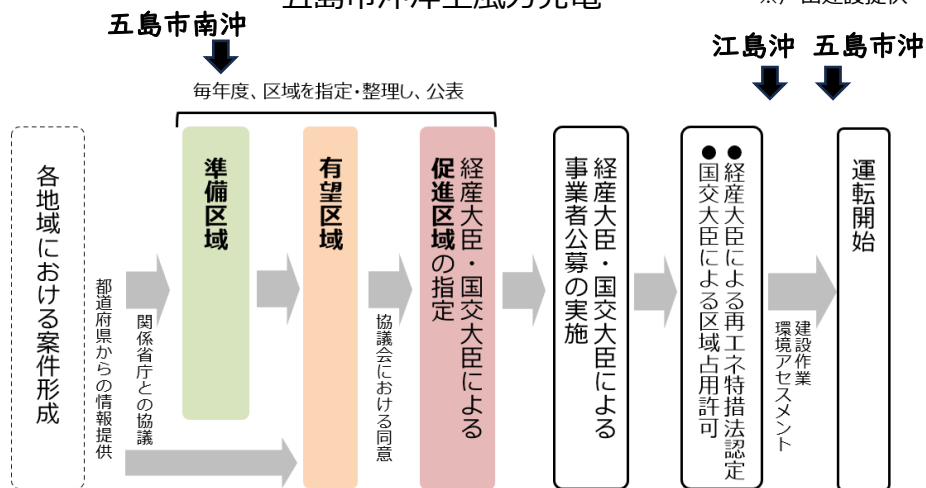


五島市沖洋上風力発電

※戸田建設提供



再エネ海域利用法に基づく県内の区域



有望区域の要件（促進区域指定ガイドライン）

- 促進区域の候補地があること
- 利害関係者を特定し、協議会を開始することについて同意を得ていること（協議会の設置が可能であること）
- 区域指定の基準（系統確保、風況等の自然的条件、航路・港湾・防衛との調整等）に基づき、促進区域に適していることが見込まれること